

小美玉市の
文化・芸術 総合情報誌

おみた magazine

OMITA MAGAZINE



アートと交わる

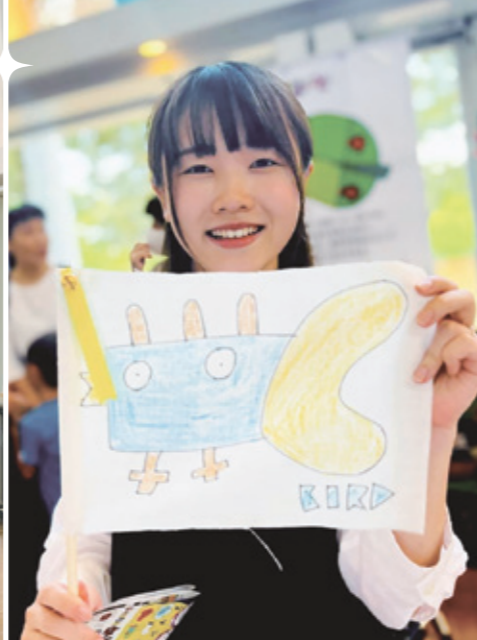
わたしがひかる

小美玉市の文化・芸術総合情報誌 おみた magazine 第177号

〒319-0132 茨城県小美玉市部室10699 TEL: 0299-484466
【企画・取材】みのんば編集局(四季文化館みの〜れ内)
【編集・発行】小美玉市生活文化課 令和5年11月22日発行

小美玉文化情報
日々発信中!

アピオス
みの〜れ
コスモス
f f
@ @
x x



Omitema
きらりびと

NEWS

みの〜れ支援隊と各種プロジェクトチームが1つになって…
みの〜れパートナーズになりました。

四季文化館みの〜れ

四季文化館企画実行委員会(9人)
■住民アーツカウンシル
■自主事業のジャッジ/館運営ルールの見直し

【令和6年4月1日からの体制】

みの〜れパートナーズ (262人)

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----------|------------|--------------|-------|------------|-----------|------------|----------|--------|----------|--------|--------|------------|
| 公演スタッフ | みの〜れ企画編集局 | スタッフアシスタント | 演劇ファミリーMILKY | みのり大鼓 | OMITAJAPAN | COMET NEW | みの〜れプロジェクト | 光と音のステージ | チロロの森 | ときめき美の小屋 | まると | 四季の宝楽舞 | 文化館教育検討委員会 |
| 42名 | 9名 | 4名 | 88名 | 43名 | 11名 | 25名 | 8名 | 5名 | 5名 | 5名 | 4名 | 4名 | 4名 |
| プロント運営 | 取材撮影 | 広報誌 | 舞台技術 | 演劇制作 | ミュージカル | 制作和太鼓 | 大連子 | ハイチマンス | ハイチマンス | ハイチマンス | ハイチマンス | ハイチマンス | ハイチマンス |

さらなる成長を

たくさんの人々の連携を促し、みの〜れのさらなる成長につなげるため、6つの団体からなる「みの〜れ支援隊」とみの〜れで活動する6つの実行委員会・プロジェクトチームが合流し、新たにスタートすることとなりました。来年度にはさらに2つ増えて14団体の集合体となります。今後も、地域の皆様と共に、文化活動を通じた人づくり・まちづくりに尽力してまいります。



みの〜れパートナーズ 代表
柴山真理子さん

■ 編集後記
みのんば編集局の活動を深く知りたい思いで企画会議から見学。取材にも参加させていただきました。企画が決まると取材・写真班が出動、レポートをまとめて編集会議。仕事でも家庭でもない第三の場所でキラキラ輝いているメンバーの活動に感謝でいっぱいです。(滑川瑞穂 四季文化館企画実行委員会委員みのんば編集局担当)

■ みのんば編集局
編集長 藤田 佐知子
記者 遠藤 雅樹、加藤 篤子、瀧澤 比佐乃、福島 ヤヨヒ、保田 孝雄
カメラマン 赤上 恵、齋藤 友幸
■ アートディレクター/デザイナー 清水 すず菜 (つばめ座)

文化ホールの未来がまちの未来をどう変えるか

文化芸術基本法が2017年に改正され、個人や地域のさまざまな潜在的な力を文化芸術で引き出すことが求められています。研究者と3館を束ねるリーダーの対談から、文化芸術により生み出される様々な価値とその拠点としての文化ホールが持つ可能性を想像してみましょう。



鳥取大学 准教授

Kiyoshi Takeuchi

公共ホール運営委員会 委員長

Atsuhiko Kuroda

共に幸福を感じることは、まちの住みやすさにつながりますね。

黒田 小美玉市には3館の文化ホールがあり、住民主体・行政支援により企画運営されています。20年前、みの〜れの企画実行委員となったことから予算や企画を考え、ルール作りを進めてきました。現在は3館それぞれの存在価値を生かし、文化ホールが地域の未来にどのような役割を果たすのかを考えています。

竹内 小美玉市では、文化ホールの運営をポスト青年団の活動として位置付け、若い人たちがまちのことを考え話し合う場しようという構想が実現していますね。青年団は社会教育団体の一つであり、民主主義が育つ場でもあります。ドイツでは劇場がこの役割を担っていて、舞台作品を通じて社会と対話することができると考えられています。これはみの〜れとよく似ています。黒田さんは20年間みの〜れに関わったことで人生に変化はありましたか？

黒田 実は、私自身の生活は大きく変わりました。以前は会社と家との往復しかない仕事人間でしたが、今では地元の地域をはじめ、文化ホール3館に関わる大勢の皆さん、市役所の職員さんとのつながりが深く

なりとても楽しく充実した日々を送っています。人生に満足していますね(笑)

竹内 私は2016年に研究の一環としてみの〜れ住民劇団「演劇ファミリーMyu」に1カ月通い、みなさんの活動を見学しました。楽しみながら大変な稽古を繰り返し、作品を生み出す苦しみと喜びを近くで感じることができ、細かな表現に人生が投影される様子がいいなと思いました。結果的には、民主的に対話する技法が身につくことが、まちづくりのビジョンを話し合うこと、さらに現在取り組まれている地域創造へつながってますね。しかし、はじめからこれを目的にしてはいけなと思っています。文化芸術の創造の場は、創造活動自体を楽しむことが大事だと思います。Myuでいえば演劇を創ることを一番楽しんでもらいたいのです。

黒田 お話を伺っていて、以前、みの〜れで昭和レトロを体験する企画展を開催したときのことが思い浮かびました。解体予定の家屋の家主から許可をもらい、柱や障子、ふすま、雨戸を持って来て館内に移築するのは何日もかかり大変でしたが、夢中で楽

PROFILE

鳥取大学 准教授
竹内 潔

茨城県生まれ。修士(文化政策)。東京大学教育学部卒業後、茨城県庁に就職。県職員時代に政策研究大学院大学に入り、修士課程を修了。日本学術振興会特別研究員を経て、2017年から鳥取大学。共著「アートがひらく地域のこれから -クリエイティビティを生かす社会へ-」(2020)ミネルヴァ書房。



PROFILE

公共ホール運営委員会 委員長
黒田 惇彦

花館区在住。会社人間から、定年退職後に務めた区長をきっかけに地域活動へ。会社勤めの時には持たなかったスケジュール手帳が今では必需品。小美玉市ボランティア連絡協議会会長。光と風のステージCueプロジェクトチームメンバー。玉里ギターフレンズメンバー。



しみましたね。来館した方から「楽しかったよ」と声をかけられたことはとてもうれしかったし、一緒に作り上げた職員とも本当の意味での仲間になれたように思います。

竹内 地域のためにと構えて活動することよりも、自分の生活が充実することが大切だと思います。仕事と遊びがはっきりしているのが近代の考え方ですが、そこを曖昧にしていくことで生まれる面白さもあるでしょう。ある意味ではアーティストは本気で遊びを続けているから人を感動させることができるのだとも言えます。文化芸術の本質は表現したもので共感しあうことであり、表舞台に立つ人だけでなく、裏方を担った人が得る達成感や幸福感も共感から生まれ

るのだと思います。
黒田 共に幸福を感じることは、まちの住みやすさにつながりますね。もつと文化ホールを開かれた場にしていきたいです。そして市民の心の豊かさを育む文化ホールの価値を多くの人に知ってほしいです。

竹内 文化ホールは社会教育の場でもあるのです。子どもだけでなく幅広い年齢層の人が学ぶことができる場として、これからどのように活用したいかという市民の声が重要になります。市民が共に楽しみながら、その先に未来が紡ぎあげられることが大切だと思います。アートには地域の未来を拓くチカラがあると思うのです。

取材に立ち会って

文化ホールは、心の豊かさを育む教育の場にもなっていることを知りました。これからも、未来につながる開かれた場として在り続けて欲しいと願います。

菊田 里美さん



撮影：赤上恵
取材：瀧澤比佐乃

Flitaku

未来は自分たちの手で変えることができる。
それを実感できる、小美玉市の文化ホール。



武石 千絵子
小川文化センター活性化委員会
委員

アピオスと同じ歳。子どもの頃にピアノ発表会で舞台上に立ったり、子どもの発表会でも利用したり、人生の節目にアピオスの存在がありました。委員や演劇でアピオスに関わっていることをとても嬉しく感じています。



齋藤 真依
コスモスプロジェクト
委員

コスモスはずっと身近な存在。書き初めが飾られているのを家族と見に来るのが楽しみでした。中学から大学まで玉里太鼓に所属。毎週の稽古でコスモスに通っていましたので、愛着があります。



保田 孝雄
四季文化館企画実行委員会
委員

みの〜れで、まちや地域は人々の熱量によって変わる、ということを感じています。もともとコミュニケーションが苦手で雑談が好きではなかったので、雑談の中から本音を引き出すことをみの〜れで学習中です。

撮影：赤上 恵 / 取材：保田 孝雄

どうして委員に？

武石 アピオスにはもともとおやこDEジャズのキャストとして参加していました。企画の新陳代謝と新たな人材の参加参画が課題で、15年間続いてきたおやこDEジャズに代わる新たな親子企画を生み出してほしいと誘われ、今年度から委員として参画しています。

保田 みの〜れにはこれまで全く関わったことはありませんでしたが、シティプロモーション活動に参加していた繋がりで見られました。熱量高く参加参画している人たちがなぜそんなに夢中になれるのか、とても興味深く活動を見ています。

齋藤 学生の頃は玉里太鼓で活動していました。しばらくコスモスから離れていましたが、地域のボランティアにはずっと興味があったので、お声掛けいただいて昨年度から参画しています。

活動していて感じたことは？

保田 みの〜れは全国から職員、議員、住民、アーティストが視察にやってくるので、委員として意見交換の場に出ることもあります。皆さんが仰るのは「住民と行政の距離が近く信頼関係を感じる」ということ。みの〜れが文化芸術分野にとどまらず、「地域活性化」「人財育成」「社会教育」「市民協働」「住民自治」などのキーワードで語られ、学者や学生から研究対象としても注目されていることを感じます。

武石 地域に元気をもたらすのは、やはり人ですね。委員自ら動いて企画を実現に持っていくエネルギーがあります。この輪を次世代に広げていけたらと感じています。

齋藤 知らない人同士が協力してプロジェクトを進めていくためには、対話の姿勢は欠かせませんよね。そ

の学びの場、社会教育の場として、文化ホールの取り組みは意義があると思います。

保田 個人的な嗜好が出やすい文化芸術分野で、意見の食い違いがあっても合意形成できているのは、社会教育活動の青年団から継承された対話の文化が根底にあるからだと思います。将来のことを語り合い、ビジョンを共有しているチームは素晴らしい企画をしますね。

武石 プロと舞台作品を創り上げる際にも、誰のために、何を、どのようにして創るのは住民側が握っていることが大事ですね。

齋藤 3館がそれぞれ創意工夫して創り上げているノウハウを、特に私たちのような新任委員が学べる機会を設けていきたいです。

自分自身に変化は？

武石 仕事と活動の両立はきつい時期もありますが、自分らしくいるためにバランスを取る場として舞台創造の現場は大切です。新たにプロジェクトを立ち上げるのには不安もありますが、頼れる人たちもいますし、住民参画から住民主体へと進化しなければならない時期に来ていると感じています。

齋藤 幼いころからコスモスは身近な存在で、自分の親以外に温かい大人の存在を知る場でもありました。私も地域の子たちにとっての温かい大人でありたいです。私以外にも「ちょっと手伝いたい」と思う同世代もいるはず。来年7月にコスモス30歳記念事業もありますから、参加参画の輪を広げていきたいです。

保田 毎日、頭の中がみの〜れでいっぱいです。まちや地域は人々の熱量によって変わることを実感しています。みの〜れに関わっている人たちがなぜそんなに楽しくそこまで

熱量があるのか気になっています。

武石 3館の横連携を促し続けるには、今日のように知り合い、分かり合う場が大切だと思いました。知り合うことで興味も湧くし、助け合おうという気も湧いてきます。

齋藤 3館の新任委員同士、同じ感性と意見を持っていることが分かり、出会えてよかったです。多世代がいる中でもフラットに話し合うための工夫を試しながら、新しい人が参加してよかったと思えるコスモスにしていきたいです。

保田 このような取材を企画すると、今日の私たちのように知らない者同士が対話し、理解し、互いに興味を深める機会になりますね。3館で語り合うシリーズ、これからもおみたmagazineで企画していきたいと思います。本日はありがとうございました。

取材に立ち会って

大人の人たちが真剣に議論し、動いてくれているからこそ、私が演劇活動できる環境があると感じました。企画を創る側にも参加してみたいと思います。

受講生
本田 妃奈さん(写真左)

みの〜れ住民劇団Myuに小2から参加していますが、私たちが舞台上に立てるのは、たくさんの人たちの理解と支援があってこそなのだと感じました。

受講生
椎葉 かなみさん(写真右)



CULTURE REPORT

2023年9月10日 / みの〜れ
みゅ〜じっく☆すた〜と

中学生たちが半年間かけて作り上げたコンサート企画は早々にチケット完売。中学生の手作りマラカスを手に持った赤ちゃんたちが、カシャカシャ音を鳴らしながら歌ったり踊ったり歩いたりして音楽を楽しみました。つくば市から初めて来場した親子も「また来たい!」と笑顔。昨年企画した高校生が後輩をサポートする姿も良い光景でした。(福島 ヤヨヒ)



2023年9月30日 / みの〜れ
光と風のステージCue vol.70 亜欧の風コンサート

親子連れや県外からのお客さまで満席のコンサート。長須与佳さんの琵琶と尺八の音色や歌声に会場は、大きな拍手が鳴り響きました。会場を練り歩く尺八演奏もあり、お客さま一人一人の顔を見ながらの演奏は、笑顔と感動を与えてくれました。長須さんは、公演の中で、学校アクティビティで小美玉の子どもたちとの交流が毎年楽しみにしていると話していました。(加藤 篤子)



2023年10月8日 / アピオス
アピオス小劇場vol.46 今宵貴方とアピオスで

教えるとしたら親しい友人にだけこっそりと。そんな秘密のライブハウスのような入口をくぐり、薄暗い中にキャンドルの灯りがゆらゆら揺れるテーブルへ。やがてステージに現れたマダム京子の妖艶な誘いに導かれ、稗田(ひえだ)隼人さんによるギターライブの幕が開きました。グラスを傾けながら時に切なく、時に情熱的なその調べに身を任せるとても素敵な90分でした。次は貴方とアピオスで。(遠藤 雅樹)



2023年9月23日 / アピオス
team;ここからプロデュース おとのわークショップ

ピアノ、フルート、テナーサクソンなど、愛用の楽器を持ち寄って来年1月の音楽会に向けて熱心に練習に励む16人。小美玉市に住む櫻井有加さんは「昨年埼玉県から転入し、今回初めてアピオスの企画に参加します。中、高校の吹奏楽部でテナーサクソンを吹いていました。楽器は久々ですが、皆さんと楽しんで演奏したいです」と意気込みを語りました。(藤田 佐知子)



2023年10月4日 / 玉里幼稚園
みの〜れ演劇アウトリーチ

「子どもたちに本物の舞台芸術に触れてもらいたい!」という思いで、市内出身の俳優・演出家でもある廣木葵さんを中心に若手のアーティスト3人が集まり活動を始めました。今回は玉里幼稚園で音楽絵本が上演され、目の前で観るステージを子どもたちは歓声を上げて楽しみました。これからも文化ホールという枠を飛び出して、ニーズに合わせた創作活動を展開していくそうです。(瀧澤 比佐乃)



2023年10月14日 / コスモス
笛の音楽隊 with 真珠のハーモニーコンサート

やさしい音色のハーブ、ピアノ、フルートアンサンブルコンサートに、20人の小美玉笛の音楽隊が加わりリコーダーを演奏。親子4人で来場した清水さんは「身近でクラシックを聴けて素晴しかった」と語り、土浦市から来場した女性は「身近なリコーダーでこんなに素晴らしい演奏になるなんて感動しました。月1回の練習なら参加してみたい」と笑顔で話してくれました。(藤田 佐知子)



INFORMATION

アピオス小劇場 vol.48 おとのわんだフル音楽会



- 日時 1月21日(日) 13:30
- 会場 アピオス特設小劇場
- 金額 1,000円
- 全席自由

team;ここからプロデュース企画。出演はCanto_Oriente(カントオリエンテ)。彼らが講師を務めたワークショップ参加者もステージに登場!ここから、おとのわが広がる。

■発売中 / 0299-58-0921 (アピオス)

けん玉ワークショップ



- 日程 1月27日(土) 13:30
- 会場 アピオス小ホール
- 金額 300円
- 講師 トーゴ

けん玉は「五感力アップ」と「成功体験」の宝庫。できた!という感動にどんどんハマリ、やり続ける集中力。テレビやスマホのゲームでは絶対に味わえないものが、気軽に体験できちゃいます。

■受付中 / 0299-58-0921 (アピオス)

第36回 茨城の太鼓演奏会



- 日時 1月21日(日)12:30
- 会場 みの〜れ森のホール
- 金額 前売500円
当日1,000円
- 対象年齢 4歳以上
- 全席自由

県内最大級の和太鼓の祭典! 10年ぶりの開催となる小美玉の地で、茨城珠玉の演奏が再び鳴り響く!!

■発売中 / 090-8315-3233 (みのり太鼓事務局 山本)

みの〜れ住民劇団Myu 新作オリジナル作品 ボクの明日は30年後



- 日時 2/10(土)①13時②18時
2/11(日)③11時④16時
2/12(祝)⑤13時
- 会場 みの〜れ特設小劇場
- 金額 1,000円(全席指定)

突然倒れた夫が冷凍睡眠に。30年後、眠りから覚めた30歳のままの夫と、待ち続けた60歳の妻の未来は…。バレンタイン前夜、ハートフルなヒューマンラブストーリー。

■発売開始 12月2日(土)10:00~/0299-48-4466 (みの〜れ)

2023年 12月 ~ 2024年 1月のイベント pick up ※このスケジュールは2023年10月28日に作成したものです。

| 開催日 | イベント | 開演 | 場所 | 主催・お問い合わせ先 | 料金 |
|------------------------|---|----------------|---------------|-------------------------------|--------------------|
| 12月9日(土) | コスモス30歳記念イベント C.C.C コスモス20歳コーラス隊10周年記念コンサート | 14:00 | コスモス 展示ホール | コスモス 0299-26-9111 | 無料 |
| 12月16日(土) 12月17日(日) | アピオス小劇場vol.47 おやこDEジャズ | 11:00 14:00 | アピオス 大ホール | アピオス 0299-58-0921 | 無料 (要整理券) |
| 12月16日(土) | 光と風のステージCue vol.71 「Marimba Duo Ms.Mallets Winter Concert」 | 19:00 | みの〜れ 風のホール | みの〜れ 0299-48-4466 | 1,000円 (1ドリンク付) |
| 12月17日(日) | クリスマスファミリーコンサート | 14:00 | コスモス 文化ホール | コスモス 0299-26-9111 | 500円 |
| 1月8日(月・祝) | 陽だまり横丁vol.205 陽だまり隊プレゼンツ「GUDA GUDA LAND」 | 10:00~15:00 | みの〜れ ホワイエ | みの〜れ 0299-48-4466 | 無料 (ワークショップ有料) |
| 1月21日(日) | アピオス小劇場Vol.48 「おとのわんだフル音楽会」 | 13:30 | アピオス 大ホール | アピオス 0299-58-0921 | 1,000円 |
| 1月21日(日) | 第36回 茨城の太鼓演奏会 | 12:30 | みの〜れ 森のホール | みのり太鼓事務局(山本) 090-8315-3233 | 前売500円 当日1,000円 |
| 1月27日(土) | けん玉ワークショップ | 13:30 | アピオス 小ホール | アピオス 0299-58-0921 | 300円 (要申込) |
| 1月28日(日) | みの〜れ住民劇団「演劇ファミリーMyu」 こどもミュージカルたいけん | 10:30 14:00 | みの〜れ 風のホール | みの〜れ 0299-48-4466 | 無料 (要申込) |